

一 国語辞典で先に出てくる言葉に○をつけましょう。

例、( ) (○) (こくご) ( ) (たいいく)

(1) ( ) (りか) ( ) ( ) (どうとく)

(2) ( ) (ひろい) ( ) ( ) (ふかい)

(3) ( ) (きつね) ( ) ( ) (きつて)

(4) ( ) (じゅう) ( ) ( ) (じゅう)

(5) ( ) (しんくう) ( ) ( ) (しんぐ)

(6) ( ) (スタンド) ( ) ( ) (スタンプ)

(7) ( ) (だいだ) ( ) ( ) (いだい)

二 文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。国語辞典では、例の**投げる**の  
ような見出し語で出ています。—— 線の言葉を見出し語になおしましょう。

例、友だちが**投げた**ボールを、しっかりとキャッチした。

投げる

(1) わたしが**かいた**絵が、作品展で優秀賞にえらばれた。

さくひんてん ゆうしゅうしょう

点



国語辞典は  
五十音しゅんに  
なってるよ。

一 次の文で、主語 何が、何は、だれが、だれは にあてはまる言葉をえらびましよう。

例、お兄ちゃんが、おじいちゃんに 電話をしました。 お兄ちゃんが

(1) わたしは、校でいで、友だちと遊んだ。

(2) 犬が、公園で、走っていた。

(3) 花が、きれいに さいている

(4) 太陽は、東から のぼる。

点

二 次の文で、述語 どうする、何だ、どんなだ、にあてはまる言葉をえらびましよう。

例、きりんが、えさを 食べる。

(1) おばあさんは、夕はんの メニューを 考えた。

(2) おんがくしつ音楽室から、歌が 聞こえた。

(3) はりの あなは、小さい。

主語 「何が」「何は」「だれが」「だれは」  
述語 「どうする」「何だ」「どんなだ」  
を見つけよう。

